National

コンパクトスクエア

取扱説明書

保管用

（壁直付型）

〈避難口／通路誘導灯（両用型）（電池内蔵型）〉

（防湿・防雨型）

品　番	タイプ
FW11137	C級片面型
FW21137	B級・BL形片面型
FW42137	B級・BH形片面型

（防湿型）クリーンフーズシリーズ（一般屋内用）

品　番	タイプ
JFX11137	C級片面型
JFX21137	B級・BL形片面型

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 警告

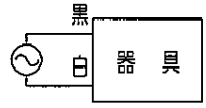
●施工は、取付方法にしたがい確実に行なってください。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を改造しないでください。　感電・火災・落下の原因となります。
●壁直付専用ですので、指定以外の取付はしないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６％）・周波数以外の電源で使用しないでください。　感電・火災の原因となります。
●蓄電池を短絡・分解などしないでください。　破裂・やけど・感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

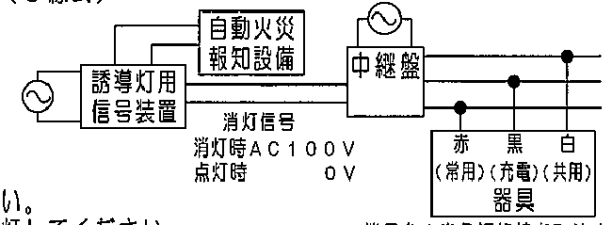
●直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
●殺菌灯と併用する場合は殺菌線が表示板・カバーに当たらない様に設置ください。　表示板・カバー劣化の原因となります。
●電源線の引き込み部分から水気が入らないよう防水処理を確実にしてください。　感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃以外では使用しないでください。
蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。
低温状態が続くと、短寿命の原因となります。
●この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
●この器具は常時、連続点灯し使用してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。

配線種類（電源線のみ）

・常時消灯しない場合（２線式）



・常時消灯する場合
（３線式）

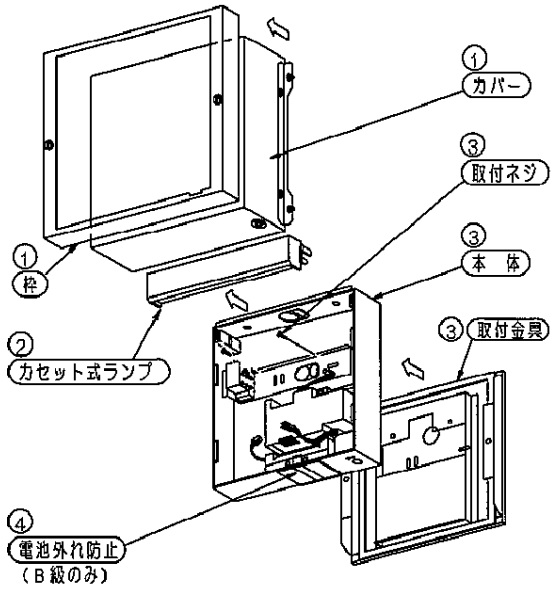


（端子台の赤色短絡線を取外す）

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

各部のなまえと取付けかた

ＦＷ２１１３７の例で
説明しています。

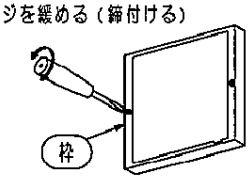
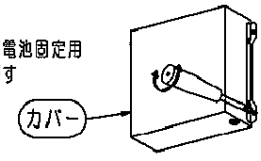


1　取付前の確認

・器具質量（３．０ｋｇ：ＦＷ４２１３７の場合）に十分耐えるよう、取付面の強度を確保する。
不備があると器具落下の原因となります。

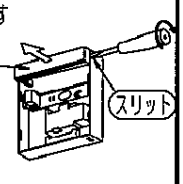
2　取付準備

①枠・カバーを取外す

枠の取外し・取付かた	カバーの取外し・取付かた
ドライバでネジを緩める（締付ける）（２ヶ所）  （注）枠の開口部でカバー表面にキズが付く恐れがあります。	プラスドライバでネジを緩める（締付ける）（４ヶ所） Ｃ級のみ、蓄電池固定用テープをはがす  （注）取付時、点検スイッチ位置を合わせる

取付に不備があると枠・カバー落下や防水不良の原因となります。

②カセット式ランプを外す。
カセット式ランプを工具（マイナスドライバ等）で片方ずつ外す
スリットに工具を押し当ててひねりながら外す
（注）必ず左右とも工具にて外してください。
無理に引き抜くと破損の恐れがあります。



③取付ネジ（２ケ所）を外し、取付金具を本体から外す。
④電池外れ防止を取り除く。（Ｂ級のみ）

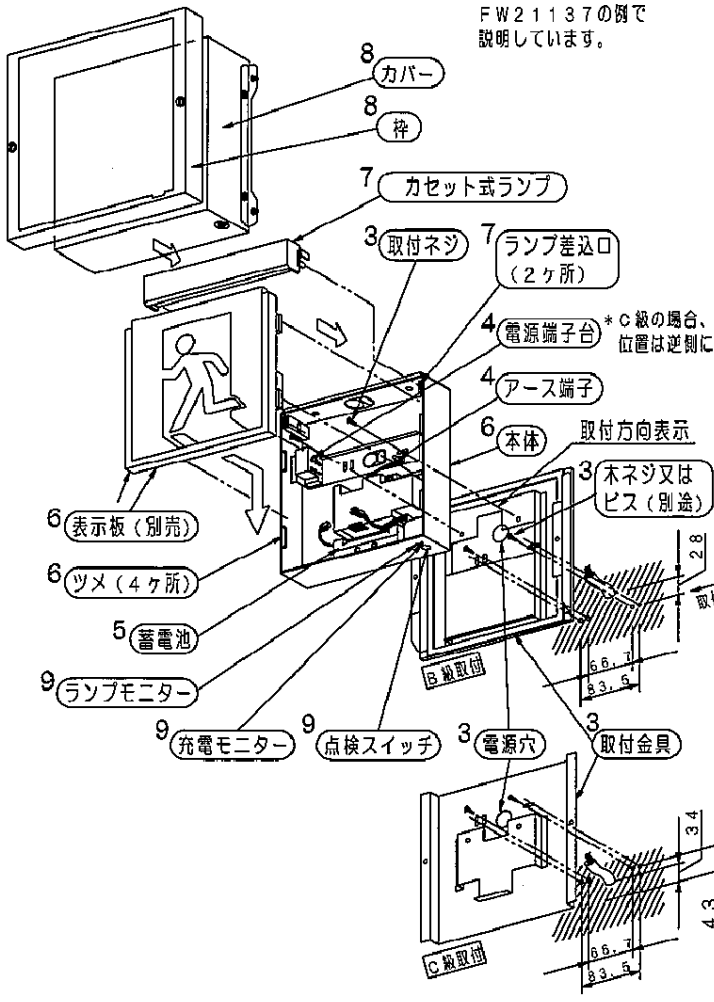
取説Ｎｏ．ＦＷ２１１３７－Ｔ９　０８０３０４

各部のなまえと取付けかた（続き）

⚠ 警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実におこなってください。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

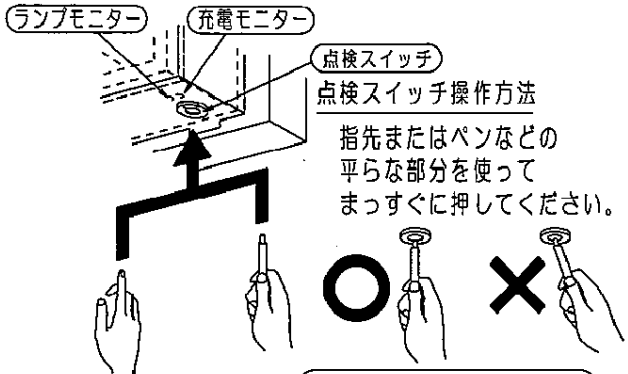
FW21137の例で説明しています。



品番	適合表示板
FW11137・JFX11137	FK01020・FK01025・FK01036・FK01037・FK01038
FW21137・JFX21137	FK02020・FK02025・FK02026・FK02027・FK02028 FK02036・FK02037・FK02038
FW42137	FK04020・FK04025・FK04026・FK04027・FK04028 FK04036・FK04037・FK04038

9 点灯確認

①電源通電状態でランプおよび各モニターランプの状態を確認する。
②電源通電状態で点検スイッチを押し非常点灯を確認する。
（点検中、充電モニター（緑）は消灯）
正常状態充電モニター（緑）は点灯、ランプモニターは消灯

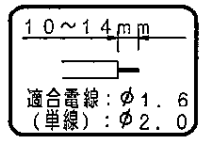


正常に動作しない場合は（故障かな？と思ったときは）を参照してください。

3 本体の取付

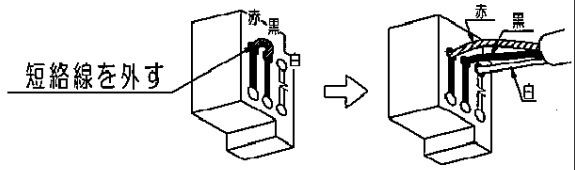
①取付金具の電源穴から電源線、アース線を引き込む。
②取付方向表示に合わせて、取付金具を木ネジ又はビスで確実に取付ける。
③電源線、アース線を電源穴から引き込む
④本体を取付ネジで確実に取付ける
取付に不備があると器具落下の原因となります。

4 電源線、アース線の接続



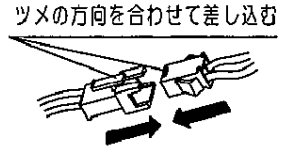
①電源線、アース線を確実に接続する。
②D種（第3種）接地工事が必要。
③電源端子台の容量は15Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。

常時消灯する場合の接続



5 蓄電池コネクタの接続

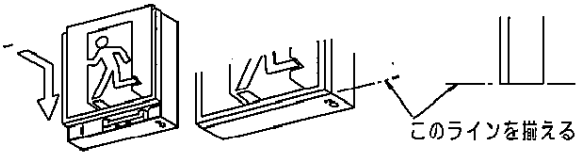
コネクタを確実に接続する。



接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

6 表示板の取付

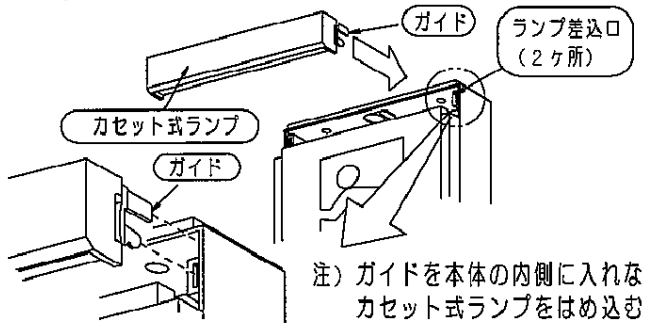
①表示板のツメが本体のツメ（4ヶ所）の上側にくるように合わせる。
②表示板を下側にスライドさせて、本体の下と揃える。



注）避難方向に表示板の表示方向を合わせてください。
取付に不備があると表示板落下の原因となります。

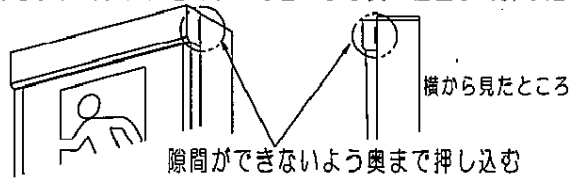
7 カセット式ランプの取付

①カセット式ランプを本体のランプ差込口にはめ込む



注）ガイドを本体の内側に入れながらカセット式ランプをはめ込む

②カセット式ランプをカチっと音がする奥の位置まで押し込む



取付に不備があるとカセット式ランプの落下の原因となります。

8 カバー・枠の取付

（詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた（2．取付準備）を参照ください。）

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●器具を改造しないでください。　感電・火災・落下の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

●カセット式ランプは絶対に分解しないでください。感電の原因となります。
●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。　破裂する危険があります。
●蓄電池は絶対に分解しないでください。　感電・やけどの原因となります。　蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池のショートは絶対にさけてください。　火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
●密閉構造を有しているため、周囲の環境状況の変化によりカバー内面に若干の水滴（結露）が発生する場合があります。
器具品質的には問題ありませんが水滴が発生したら、カバーを外して水滴を拭き取ってください。
●照明器具には寿命があります。[*1] 3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

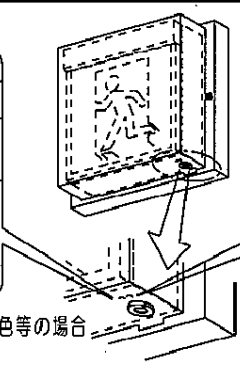
＊1　照明器具は、使用条件、使用環境でことなりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意

ランプモニター（赤）

ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。	⬭	点灯しない	正常です
	⬭≋	赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
	⬭↕≋	赤色点滅	ランプ交換時期の目安です。ランプの点灯時間をカウントし、約6年半で赤色点滅でお知らせします。

（注）ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。



充電モニター（緑）

蓄電池の充電がなされているか確認できます。	≋	緑色点灯	正常です
	⬭	点灯しない	蓄電池が充電されていません。非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタが外れていないかを確認してください。

保証について

・保証について・・・・・・・この商品の保証期間は1年です。　ランプ・電池等消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年保有しています
補修用性能部品は、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
・表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

交換部品

品　番	カセット式ランプ（ナショナル蛍光ランプをご使用ください）	蓄電池
FW11137 JFX11137	品番：FL9134018　（品名：CF130T4EN/C）	FK123（3.6V600mAh）
FW21137 FW42137 JFX21137	品番：FL9204018　（品名：CF200T4EN/C）	FK125（4.8V600mAh）

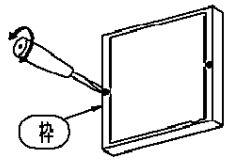
取説No．FW21137－T9　080304

お手入れ・部品交換（続き）

ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（約６年半毎）
（注）ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

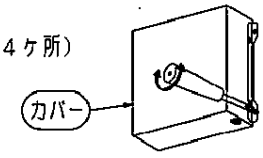
ランプの交換方法

1 枠を外す。
ドライバでネジを緩める（２ケ所）

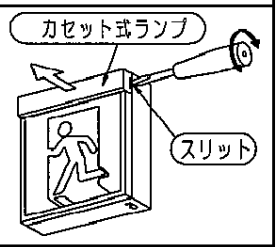


（注）枠の開口部でカバー表面にキズが付く恐れがあります。

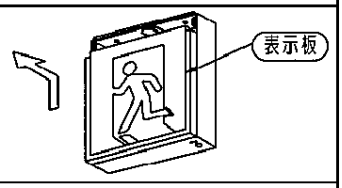
2 カバーを外す。
プラスドライバでネジを緩める（４ケ所）



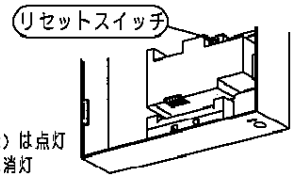
3 カセット式ランプを外す。
カセット式ランプを工具（マイナスドライバ等）で片方ずつ外す
スリットに工具を押し当ててひねりながら外す
（注）必ず左右とも工具にて外してください。
無理に引き抜くと破損の恐れがあります。



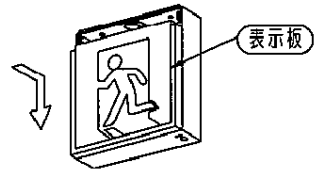
4 表示板を外す。
表示板を上側にスライドさせて取り外す



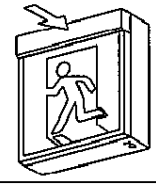
5 リセットスイッチを押す。
電源通電状態でランプが点灯するか確認する。
ランプモニターの点灯または点滅が止まること。
充電モニター（緑）は点灯
ランプモニターは消灯



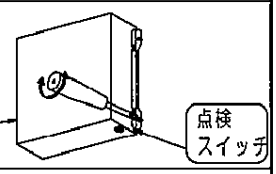
6 表示板を取付ける。
表示板を下側にスライドさせて取付ける。
「各部のなまえと取付けかた」の「表示板の取付」参照
取付に不備があると表示板落下の原因となります。



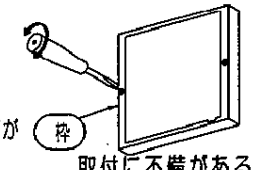
7 新しいカセット式ランプを取付ける。
「各部のなまえと取付けかた」の「ランプの取付」参照



8 カバーを取付ける。
プラスドライバでネジを締付ける（４ケ所）
（注）取付時、点検スイッチ位置を合わせる
取付に不備があるとカバー落下や防水不良の原因となります。



9 枠を取付ける。
ドライバでネジを締付ける（２ケ所）



（注）枠の開口部でカバー表面にキズが付く恐れがあります。
（注）取付時、点検スイッチ位置を合わせる
取付に不備があると枠落下の原因となります。

蓄電池の交換方法

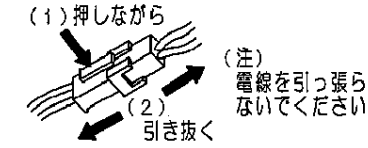
1 枠を外す。

2 カバーを外す。

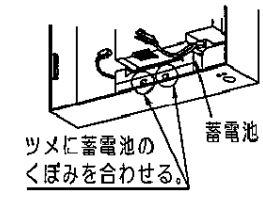
3 カセット式ランプを外す。

4 表示板を外す。

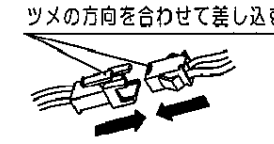
5 蓄電池コネクタを外す。



6 蓄電池を交換する。



7 蓄電池コネクタを接続する。
コネクタを確実に接続する。



接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

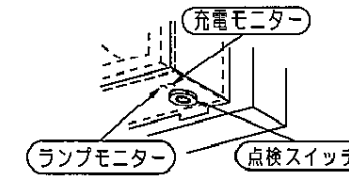
8 表示板を取付ける。

9 カセット式ランプを取付ける。

10 カバーを取付ける。

11 枠を取付ける。

12 非常点灯確認
電源通電状態で点検スイッチを押し非常点灯を確認する。
操作中、充電モニター（緑）は消灯



表示板の交換方法

1	枠を外す
2	カバーを外す。
3	カセット式ランプを外す
4	表示板を外す。
5	新しい表示板を取付ける。
6	カセット式ランプを取付ける。
7	カバーを取付ける。
8	枠を取付ける。
9	点検スイッチを押す。 （注）点検スイッチを押さないと点灯しません。

取説No．FW21137－T9　080304

器具定格・接続図

接続図についてはブロックの銘板、定格については器具の銘板を参照ください。

◆定期点検　３ケ月に１回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
６ケ月に１回は、必ず非常点灯持続時間（２０分間以上）、切替動作などの機能点検を合わせて行なってください。
（点検については、消防庁告示第３号および第１４号に定められています。）

◆設置年月日　　年　　月　　日　　◆取付場所　　◆器具Ｎｏ.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

・表にしたがってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	点検スイッチを押す。 （それでも点灯しない場合は、再度電源を入れ直す。）
	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを２秒以上押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを２秒以上押す。
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている。	通電側にする。
表示面が暗い	周囲温度５～３５℃の範囲外である。	５℃以下の場合暗くなる。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
	カバーの内側がくもっている。	カバーを外して内面を拭き取る。
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニタが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換して、リセットスイッチを２秒以上押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを２秒以上押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを２秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを２秒以上押す。
非常点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
短時間しか点灯しない（２０分未満）	蓄電池の充電不足である。	２４時間以上充電する。
	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
非常点灯中に２０分以上点灯後突然消灯する	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。正常な動作です。	

Ni-Cd　この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

松下電工株式会社　（〒571－8686）　大阪府門真市門真1048　☎（06）6908－1131

取説Ｎｏ．ＦＷ21137－Ｔ9　080304